

進んだか？

は



町長に意見書を手渡す監査委員

監査委員の指摘

監査委員 松本正博
監査委員 鹿島 功

①税金や使用料などに約6億300万円の滞納がある（左ページの表）。未収金は増加傾向にあるので、さらに対策を強化すること。

②ごみ袋代金紛失や山香荘の無許可営業などで、町民の信頼を失いつつある。

職員一人ひとりが、町民全体の奉仕者であることを自覚し、再発防止と信頼の回復に努めること。

③農業集落排水及び公共下水道事業は、接続率が当初計画のおおりに進んでいない。今後は、接続率の向上に努め、財政健全化を図ること。

④多額の町費で整備された情報通信網は、テレビやインターネット以外の活用が図られていない。

監査委員の審査とは、町長から提出された決算書・関係調書などを、以下の項目でチェックすることです。

- ①決算計数は正確で誤りはないか。
- ②予算は、関係法令に基づき効果的かつ的確に執行されているか。
- ③収入支出事務は、関係法令に基づき、計画的、効率的に処理されているか。
- ④財産は適正に管理運営されているか。

議会の指摘

決算審査
特別委員会

①経済不況で税収入は減少したが、国の経済危機対策を活用し、生活基盤・教育環境の整備が行われた。

②各種がん検診・特定健診の受診率は低調である。

③大山診療所は、使用していない2階で、地域密着型サービスを行う事業者を公募する方針が示された。固定医の確保も考え、直営から民間への委託も検討すること。

④堅実な財政運営をすること。

また、遊休町有地の活用やふるさと納税の促進を図り、自主財源の確保に努めること。

また、保健組織の活用で受診率の向上をめざすこと。

基金は3億7221万円の積み立てが行われたが、さらに

元気で快適な生活と医療費縮減のため、検診方法や時期の検